

## ID Week 2019 における合同シンポジウム報告

ID Week 2019 が 2019 年 10 月 2 日（水）～6 日（日）に米国ワシントン DC で開催された。日本感染症学会と米国感染症学会（IDSA）は 2018 年より MOU を締結しており、今回初めて“Antimicrobial Resistance and Stewardship Across the Globe”のテーマのもとに合同シンポジウムが企画された。Chris Ohl 先生（Wake Forest School of Medicine）と私が司会を担当し、CDC、WHO、メキシコ、日本における ASP の実際とさまざまな工夫が紹介された。日本からの演者として、石金正裕先生（国立国際医療研究センター）にご登壇いただき、AMR 対策アクションプラン、ASP 加算をはじめ本邦における ASP 取組みの現状をご紹介いただいた。Ohl 先生が、「日本は punishment ではなく、reward によって ASP を進めようとしているのか」というコメントが印象的であり、多数の先生から賛同の感想をいただいた。

学会期間中に IDSA 執行部（Cynthia Sears 理事長、Thomas File 次期理事長、Barbara D. Alexander 副理事長）とビジネスミーティングが実施された（日本感染症学会側：舘田、土井洋平先生（藤田医科大学））。ID Week 2019 においてこれまでで最高の参加者数が得られたことが報告されるとともに、来年の日本感染症学会学術講演会における招聘演者候補、および ID Week 2020 における合同企画の内容に関して議論された。来年の第 94 回日本感染症学会総会・学術講演会は東京オリンピック・パラリンピックの直前の学会となることもあり、輸入感染症あるいは ASP に関する新しい話題を取り上げてはどうかということが話し合われた。また、ID Week 2020 における合同企画に関しては、学際化・国際化委員会と相談しながら IDSA のプログラム委員でもある土井先生にもご協力いただきながら相談していくこととなった。

ID Week 2020 は米国フィラデルフィアで 2020 年 10 月 21 日（水）～25 日（日）に開催される。日本からも多数の参加者が新しい研究成果をもって参加し、日本感染症学会の活動の一端を紹介してくれることを期待したい。

2019 年 10 月 9 日

一般社団法人日本感染症学会  
理事長 舘田 一博